

二輪暴走抑止装置の特徴について

平成 7 年より大型二輪二輪免許が自動車学校で行えるようになり、それと同時に全国的に教習所内での事故も増加し残念ではありますが、中には死亡事故になってしまった例もありました。

四輪教習車の様に補助ブレーキがない二輪教習では、どんなに経験を積んだ指導員であっても、一端暴走した車両を止めることは不可能です。

そこでなんとか「二輪車の暴走を遠隔で止める方法はないか」と考え、出した一つの答えがこの二輪暴走抑止装置です。

使い方としては、四輪車のリモコンキーの様にボタンを押すと同時に、教習生二輪車のエンジンを止める事が出来ます。

また指導員が教習生を追従中でも、指導員車両に取り付けたスイッチにより、指導員が走行中でも止める事が可能です。

その時の教習車両の状況としては教習車が急停止する訳ではなく、ガス欠によりエンジンが止まる状況になるとお考え下さい。

＜ 教習中に事故になりやすい教習項目 ＞

発進停止 / 狭路通過 / 一本橋 / パイロンスラローム / 波状路
などが考えられ、これらについては指導員が立って指導するパターンと、
指導員が走行中に教習生の異変に気付くパターンもあります。

そこで本機の特徴として

- リモコンを取り外して指導員が立った状態でも操作可能。
- 指導員の乗る車両から乗車中でも操作可能。
- 特定小電力電波を使用しているので電波到達距離は 300m 以上で
(山口県免許センターでもテスト済)敷地の広い教習所でも使用可能。
- 基本、指導車両一台に対し教習生車両一台の一対一の対応となります。
- 車両それぞれに取り付けたい場合は、周波数を変えることで、最大 12 台まで
同じコース内で使用が可能。
- 本体の機械は取り外し可能で、使用したい教習車に配線だけして置けばどの
教習車にも移設して使用可能 (配線については別途一台 3,500 円税別が必要)
- 追尾指導する場合も、指導員側の車両に配線をしていればリモコンはどの車両
にも取付け可能 (スイッチ&配線については別途一台 8,500 円税別が必要)